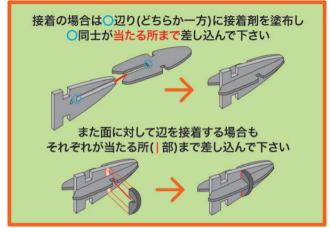


【注意】

本製品の対象年齢は15歳以上です 対象年齢に満たない方がご購入の際には 必ず最初から保護者の方が 組み上げる様にして下さい (一度パーツを破損させた製品は 大人の方が引き継いでも 完成が困難になります)

【組み立ての前に】

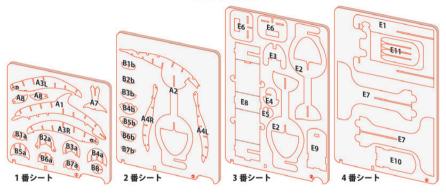
- ※わかりにくい場合は完成図や後の行程の画像を 参考にして下さい。
 - ※接着の指示がない箇所は一旦完成させた後、 抜け落ちる箇所のみ接着して下さい。



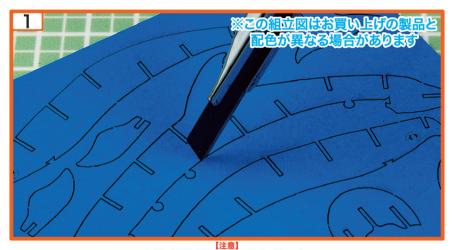
【注意】

上図説明にご注意下さい パーツが浮いて接着されると完成できなくなります

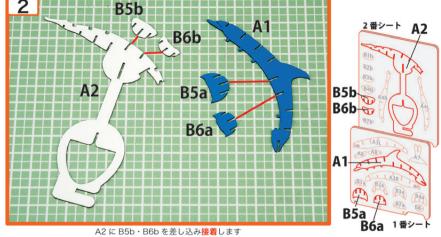
【番号表】



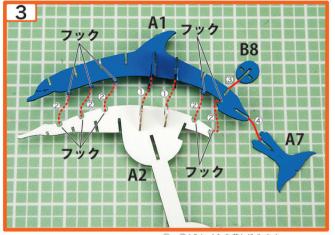
本組立図に出てくる別途ご用意頂く必要がある物 カッター・木工ボンド・ピンセット・輪ゴム・ティッシュ 重り (10 円玉 2~5 枚等)



※台紙から取外す際はカッター等をご使用下さい。
※接着指示のある箇所は木エボンド(推奨)等で接着して下さい。また指示のない箇所は完成をに抜け落ちる箇所のみ接着して下さい。



A2 に B5b・B6b を差し込み接着します また A1 に B5a・B6a を差し込み<mark>接着</mark>します





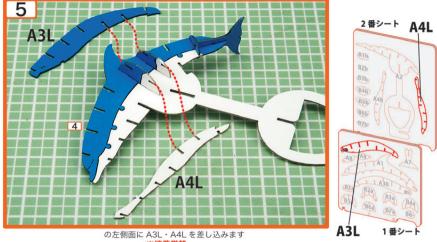
①~②A2 に A1 を差し込みます

②A2 に A1 を差し込みます ※**接着厳禁**

前後のフックを避けて①B5a(B6a) に B5b(B6b) をあてがい ②前後のフックをはめ込みます 後部フックがフラットになっている事を確認し ③B8 を差し込み接着し ④AT を差し込み接着します

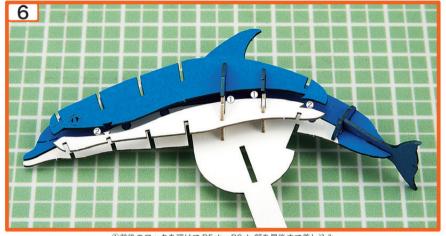


この様になります

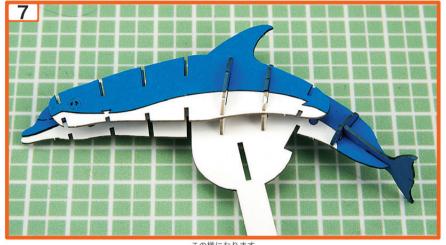


※接着厳禁

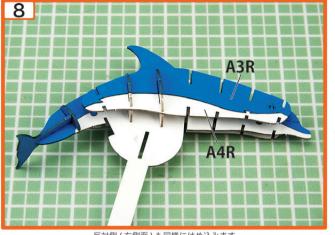
※次図参照



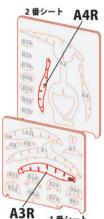
①前後のフックを避けて B5ab・B6ab 部を最後まで差し込み※接着厳禁②前後のフックをはめ込みます



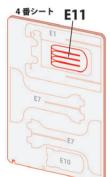
この様になります



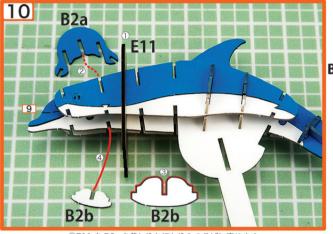
反対側 (右側面)も同様にはめ込みます





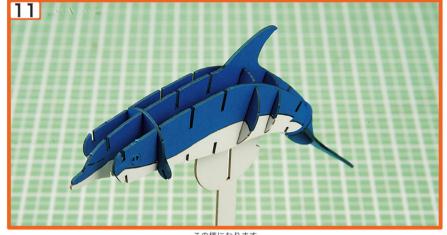


8 に E11 を差し込みます ※接着厳禁 ※ 8 の切れ込みには差し込みません ※E11 が最後まで差し込めない場合は事前にハメたフックが 大きく外れている可能性があります ※ 次図参照

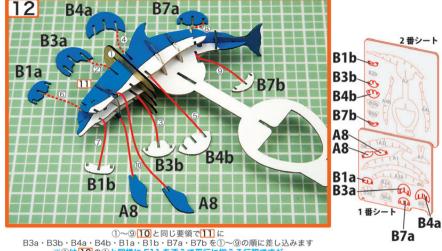


①E11 を B2a を差し込む切れ込みのそばに寄せます②B2a を差し込みます※接着剤不要③B2bの B2a と触れる断面に接着剤を塗り④[⑨] に差し込み接着します

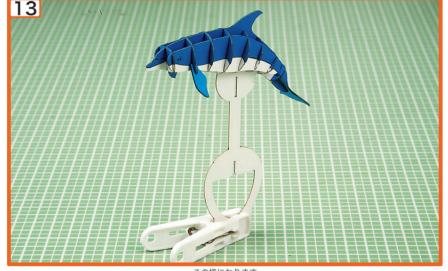




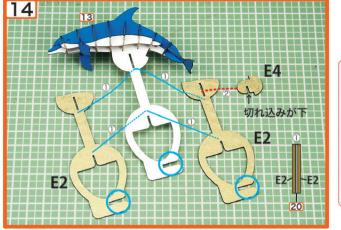
この様になります

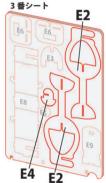


 ※①は「①の①と同様に E11 を添えて平行に揃える行程ですが 反り等がなく既に平行になっている場合は特に行なう必要はありません
 ②④⑥⑧は接着不要です
 ③⑦⑤⑨は[10]の③と同様に接着剤を塗り接着して下さい ⑩A8(x2) を差し込み接着します

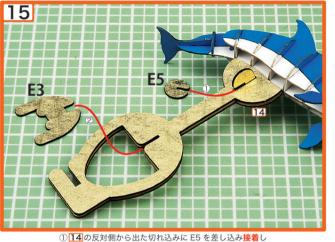


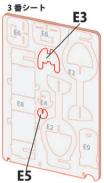
この様になります



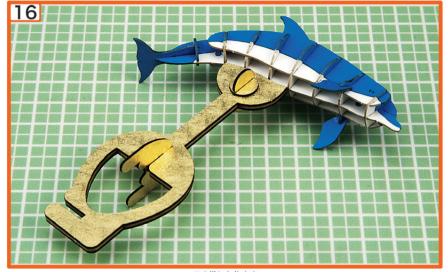


① 13 の軸の左右を下側のフックの向き (上図〇部) に注意し E2(x2) で挟みます ②E4 を切れ込みを下にして差し込みます

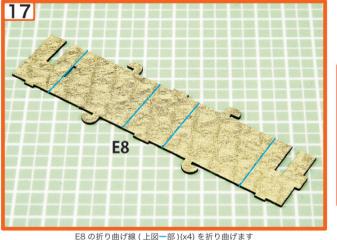


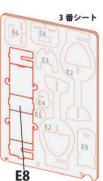


① 14 の反対側から出た切れ込みに E5 を差し込み接着し②E3 を差し込み接着します

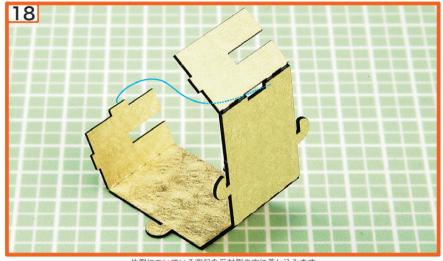


この様になります

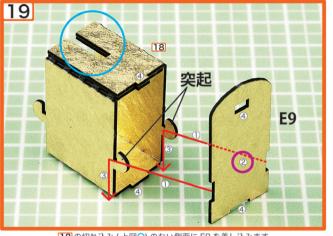




E8 の折り曲げ線 (上図一部)(x4)を折り曲げます ※裏表を見比べて線が繋がっている面が山折り側です ※逆折り厳禁 破損します



片側についている突起を反対側の穴に差し込みます ※次図参照

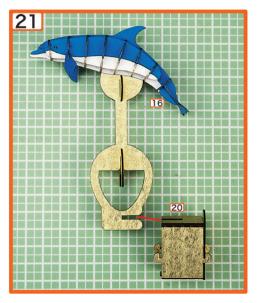




「18 の切れ込み(上図○)のない側面に E9 を差し込みます
 ①突起を目安に E9 を差し込み
 ②○の辺りをしっかり押さえて
 ③下に押し下げます
 ④上下突起がしっかりはまっている事を確認します



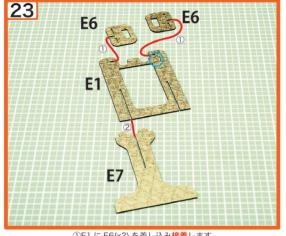
この様になります



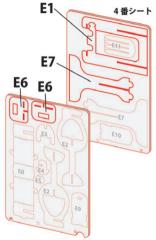
16に20を差し込み接着します



この様になります



①E1 に E6(x2) を差し込み接着します②その後フック (上図○部) がない側の切れ込みに E7 を差し込み接着します

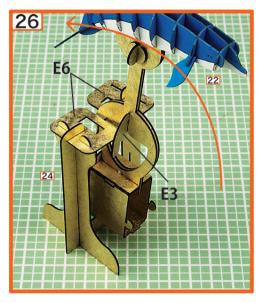




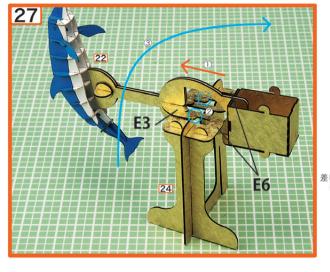
この様になります



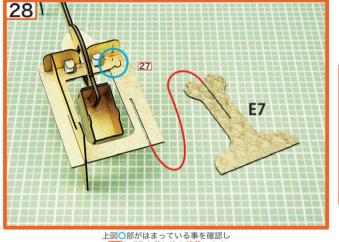
①24のフック部を少し開きます※開きすぎると破損します②24の軸を[22]の穴に通します※次図参照

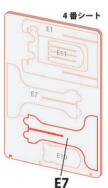


22をこの位置まで持ってきた後 E3がE6の上にのる様に 22を←の方向に倒します ※次図参照



①[22]を←方向に スライドさせて ②E6の穴に E3 の突起を 差し込める (左図○) 状態にして ③ [22]を→方向に起こして 垂直に戻します





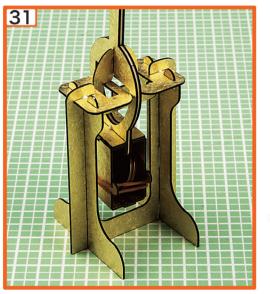
上図<mark>○</mark>部がはまっている事を確認し **27**に E7 を差し込み<mark>接着</mark>します



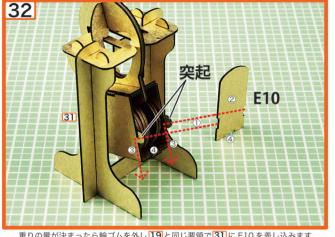
この様になります

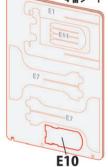


29 に輪ゴムをかけて重りを入れます
※本組立図では 10 円玉を重りにして説明しています
重りケースの内寸は 23x23x16mm になります
その中に収まるサイズで比重が重い素材であれば
10 円玉以外でも代用が可能です



重りの量でスイングの仕方が変わります 軽すぎるとスイングせず 重すぎると重りに引っ張られてしまい スイング量が減ったり 転倒する場合があります 重りの量を調節して お好みのスイングを見つけて下さい ※本製品は10円玉2枚(約9g相当)を 基準に増減させてアさい ※スイング中に重りが動くと 相殺されてスイング量が減ります 重りケース内で重りが動く場合は ティッシュ等で隙間を埋めて下さい





重りの量が決まったら輪ゴムを外し **119** と同じ要領で **31** に E10 を差し込みます ※接着厳禁 ①突起を目安に E10 を差し込みます

※②~④次図参照



②○の辺りを押さえて ③下に押し下げます ④下突起がしっかりはまっている事を確認します ※重り調整等でフタをはずす際は

②の辺りを押さえて ③を引き上げます



この様になり完成です



【完成図1】